

日本語日本文学専攻

1. 専修科目、授業科目、単位数、担当者及び主研究内容等

※ 担当者氏名前の○印は、令和6年度の学生募集担当者を表します。

専修科目	授業科目	単位数	担当者	主研究内容等
日本語学	日本語学特別研究Ⅰ	4又は12	教授 博士(文学) ○衣畑 智秀	日本語の文法の歴史的な研究、および琉球宮古語の記述的研究を中心に行い、テーマによっては両者の比較・対照的研究も行っている。近年扱った主なテーマとしては、疑問文、不定構文、指示詞、動詞複合体に見られる文法化、否定極性表現などがある。詳しくは以下の researchmap ページを参照されたい。https://researchmap.jp/read0076496
	日本語学特論Ⅰ	4		
	日本語学特別研究Ⅰ	4又は12	教授 ○山縣 浩	修士論文を踏まえ、各人の選んだ研究課題を広い視野で発展させるため、研究方法の指導を行う。特にデータ処理に関する助言が必要かと思われるので、その面に重点を置くこととしたい。 近代語における文法・語彙を中心とする問題を取り上げ、受講者とともに解決してゆく。この場合、文献資料や方言資料など、解決のための基盤となる資料の扱い方に注意し、論文作成を視野に入れた指導を行う。
	日本語学特論Ⅰ	4		
	日本語学特別研究Ⅱ	4又は12	教授 ○江口 正	各自の選んだ研究課題について、言語学の理論的観点と研究方法を用いて分析する方法を指導する。研究史の把握、データの扱い、議論の構成法などについて具体的な指導を行いつつ、研究会・学会での発表や研究論文の執筆の実践的サポートを行う。 日本語の文法を中心とする諸問題を取り上げ、その問題と関連する諸理論を見渡しながら言語学的一般化がどのようなものであるべきかを考えていく。日本語の歴史的・地理的なバリエーションにも目配りをした研究の進め方についても考察の対象とする。
	日本語学特論Ⅱ	4		
日本文学	日本文学特別研究Ⅰ	4又は12	教授 ○高橋 昌彦	江戸時代の文芸についての研究。研究者の希望するテーマに応じ、韻文・散文・芸能等の分野を問わず、作家研究・作品論の構築について修得を目指していく。 江戸時代の具体的な作品・作家を採り上げて、扱うテキストを確定するまでの書誌学から始め、その後の研究方法に必要な知識や基盤を身につけていく。
	日本文学特論Ⅰ	4		
	日本文学特論Ⅱ	4	教授 博士(文献文化学) 永井 太郎	本講義では、明治二十年代の文学論争について読み直す。前半は、森鷗外と坪内逍遙の間で行われた「没理想論争」、後半は、山路愛山と北村透谷による「人生相渉論争」や、「文学と自然」論争、文学極衰論争を取り上げる。
	日本文学特別研究Ⅱ	4又は12	教授 博士 (比較社会文化) ○中野 和典	日本近代文学の研究。受講生が設定した研究テーマを追求するために、専門性の高い書誌学的考察、先行研究の整理、問題設定、各種資料や批評理論を駆使した論述等の方法について指導する。 日本近代文学の中から特に散文作品を取り上げ、書誌や研究史等を整理した上で独自の論を展開する方法を探る。批評理論についても理解を深め、近代文学を研究するために必要な知識や思考力を身につけることを目指す。
	日本文学特論Ⅱ	4		

2. 履修方法

- ① 学生の標準修業年限は3年とし、所定の研究指導科目について、合計12単位以上を修得しなければならない。ただし、優れた研究業績をあげた者については、1年以上在学すれば足りるものとする。
- ② 研究指導科目のうちから一つの特別研究科目を選定し、これをその学生の専修科目とする。その専修科目を必修とし、12単位を修得しなければならない。
- ③ 専修科目の研究指導(特別研究)担当者を当該学生の指導教員とし、学位論文の作成、その他研究一般について、その指導に従うものとする。
- ④ 特別研究科目は3年間12単位の履修を原則とするが、指導教員が研究上特に必要と認めた場合には、専修科目とせず1年間4単位の履修を認めることがある。
- ⑤ 博士の学位論文は、専修科目について提出するものとする。

英語学英米文学専攻

1. 専修科目, 授業科目, 単位数, 担当者及び主研究内容等

※ 担当者氏名前の○印は, 令和6年度の学生募集担当者を表します。

専修科目	授 業 科 目	単位数	担当者	主研究内容等
英語学	英 語 学 特 別 研 究 I	4 又 は 12	教授 博士(言語学) ○山田 英二	生成文法理論の枠組みで, 英語を中心とした言語の音声・音韻・形態に関する研究指導を行う。学会発表, 学術論文の作成に関わる実践的な指導を行い, 最終的には学位論文の作成をめざす。
	英 語 学 特 論 I	4		生成文法理論の枠組みで, 英語を中心とした言語の音声・音韻・形態構造の研究を通して, 言語の普遍性と個性という観点から, 言語の本質や人が言語を獲得する仕組みに迫る。特に, 言語のプロソディーに関わる諸問題及び音節構造, 素性階層構造, 形態構造などを取り扱う。
	英 語 学 特 別 研 究 II	4 又 は 12	教授 ○久保 善宏	生成文法理論の一つの研究指針であるミニマリスト・プログラムという道具立てを用いて, この道具立てが英語という個別言語の様々な統語事象をどのように説明できるのか, またできないのか, さらには説明できない事象はどのようにすれば説明可能になるのだろうか, ということを考察していくことによって英語という言語の普遍性と個性の解明に迫る。
	英 語 学 特 論 II	4		生成文法理論の一つの研究指針であり, その主流であるミニマリスト・プログラムを考察する。道具立てとしてのミニマリスト・プログラムを言語の進化という観点から吟味し, 言語進化の謎に迫る。
		英 語 学 特 論 III	4	教授 博士(学術) 竹安 大
英文学	英 文 学 特 論 I	4	教授 鶴田 学	ウィリアムシェイクスピアを中心とする近代初期イギリス演劇をテーマとして, 当時の劇場世界, 世俗の出版文化, 聖書, 祈祷書, 説教を含む宗教の出版文化を踏まえた専門性の高い演習を行う。当然ながら, 読解するテキストには近代初期英語の原文が含まれる。そうした「古典的な」英語の精緻な読みを基盤として, 現代の最先端の英文学批評に挑む。
	英 文 学 特 別 研 究 IV	4 又 は 12	教授 博士(文学) ○園田 暁子	18世紀から19世紀の文学作品を中心に, 受講生が研究の対象とする作品を批評的に読み, 先行研究の論文を活用しながら自らの論を展開していく方法を, 議論や論文執筆を通して身につけます。
	英 文 学 特 論 IV	4		18世紀から19世紀の文学作品をBook Historyの視点から読み, 考察していきます。特に, 職業としての文筆業が成り立つようになった背景, そして, それによって詩人をはじめとする文筆家たちの意識に起こった変化について通史的に検討していきます。
米文学	米 文 学 特 別 研 究 I	4 又 は 12	教授 Ph.D ○ジェファソン M. ピーターズ	In this doctoral research class, we will study, define, and enjoy the American gothic genre. To do so, we will read, discuss, and write about examples from throughout the history of the USA, from Washington Irving and Edgar Allan Poe through H. P. Lovecraft and William Faulkner to Stephen King and Joyce Carol Oates. We will also watch relevant TV shows and movies.
	米 文 学 特 論 I	4		In this class we will study American children's literature, focusing on genres like fantasy and historical fiction and on themes like gender, home, family, friendship, travel, and growth. We will read classic novels like L. Frank Baum's The Wonderful Wizard of Oz (1900) and Laura Ingalls Wilder's Little House in the Big Woods (1932), as well as more recent ones like Neil Gaiman's The Graveyard Book (2008) and Karen Cushman's Alchemy and Meggy Swann (2010). We will deepen our understanding of American culture, children, historical fiction, and fantasy, and of how those things have changed from the early twentieth century until today's post-9/11 world.
	米 文 学 特 別 研 究 II	4 又 は 12	教授 博士(文学) ○大島由起子	ハーマン・メルヴィルの研究を中心に行う。とくに異人種について, 白人と先住の民との関係, および人間と(他の)動物との関係に焦点を当てることになる。
	米 文 学 特 論 II	4		アメリカ人作家ハーマン・メルヴィルおよび北米先住民研究

その他の科目（担当者未定科目）

授 業 科 目	単位数	授 業 科 目	単位数
英 文 学 特 別 研 究 I	4又 は12	英 文 学 特 論 II	4
英 文 学 特 別 研 究 II	4又 は12	英 文 学 特 論 III	4
英 文 学 特 別 研 究 III	4又 は12	英 文 学 特 論 V	4

2. 履 修 方 法

- ① 学生の標準修業年限は3年とし、所定の研究指導科目について、合計12単位以上を修得しなければならない。ただし、優れた研究業績をあげた者については、1年以上在学すれば足りるものとする。
- ② 研究指導科目の中から一つの特別研究科目を選定し、これをその学生の専修科目とする。その専修科目を必修とし、12単位を修得しなければならない。
- ③ 特別研究科目は3年間12単位の履修を原則とするが、専修科目としない場合は、1年間4単位の履修も認めることがある。
- ④ 専修科目の研究指導（特別研究）担当者を当該学生の指導教員とし、学位論文の作成、その他研究一般について、その指導に従うものとする。
- ⑤ 博士の学位論文は、専修科目について提出するものとする。